

安全データシート (SDS)

作成日 2018年 7月 12日

1、化学物質等及び会社情報

製品名 : Eleston α
 会社名 : 原田産業株式会社
 担当部門 : クリーンテクノロジーチーム
 住所 : 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-10-14
 電話番号 : 06-6244-0972
 F A X 番号 : 06-6244-0152
 緊急時連絡先 : 06-6244-0972
 推奨用途及び使用上の制限 : 一般工業用途

2、危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : なし

〔GHS分類〕

有害性項目	分類結果	注意喚起語	
急性毒性経口：	分類できない		
急性毒性経皮：	〃		
急性毒性吸入：ガス	分類対象外		
急性毒性吸入：蒸気	区分外		
急性毒性吸入：粉塵、ミスト	〃		
皮膚刺激 / 腐食性：	区分3	警告	軽度の皮膚障害
目損傷性 / 目刺激性：	区分2		
呼吸器感作性：	区分外		
皮膚感作性：	〃		
生殖細胞変異原性：	区分1		
発がん性：	区分2		
生殖毒性：	区分1	警告	生殖機能が胎児への悪影響の恐れ疑い
特定標的臓器 / 全身毒性（単回暴露）	〃	警告	臓器の障害の恐れ
特定標的臓器 / 全身毒性（反復暴露）	〃	危険	長期や反復暴露で臓器の障害
吸引性呼吸器有害性：	区分外		
水性環境有害性（急性）	〃		
水性環境有害性（慢性）	〃		



[注意喚起語] * 危険

[注意書き]

安全対策

- * 使用前に注意書きを良く理解して取り扱うこと。
- * 飲食または喫煙しながらこの製品を使用しないこと。
- * 必要に応じて個人用保護具（保護手袋および保護メガネ、保護マスク等）も着用すること。
- * 取り扱い後は良く手を洗い、うがいをする事。

[救急処置]

- * 火災の場合には、消火に炭酸ガス、泡、粉末消火器を使用すること。
- * 目に入った場合は直ちに水で注意深く洗い、医師の診断、手当てを受ける。
- * 皮膚または衣服に付着した場合は直ちに大量の水と石鹼等で洗い、汚染された衣服は新しいものに取り換えること。
- * 気分が悪くなったり、眼および皮膚刺激等の異常を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- * 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。

[保管] 密閉容器に保管すること。

[廃棄] 残留分や廃棄物および容器は、市町村の規則に従って廃棄すること。

3、組成及び成分情報（含浸液）

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲（wt%）
水	7732-18-5	-	75～80
エタノール	64-17-5	2-202	15～20
1-プロパノール	71-23-8	2-207	<2
メタノール	67-56-1	2-201	<1
第三級アミン	-	-	<1
その他	-	-	<1

4、応急措置

[飲み込んだ場合]

*無理に吐かせずに、安静にして直ちに医師の診断・手当てを受けること。

*嘔吐物は飲み込ませないこと。

[吸入した場合]

*蒸気ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断・手当てを受けること。

[皮膚に付着した場合]

*付着物を布で素早く拭き取り、大量の水及び石鹼、又は皮膚用洗剤を使用して洗い落とす。その際には、溶剤、シンナーなどは使用しないこと。

*外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断、手当てを受けること。

[眼に入った場合]

*直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

*出来るだけ速く医師の診断、手当てを受けること。

5、火災時の措置

[使用可能な消火剤]

*水 (○)、炭酸ガス (○)、泡 (○)、粉末 (○)、乾燥砂 (○)、その他 ()

[火災時の特定の危険有害性]

*燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスがふくまれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

[特定消火方法]

*消防隊に火災の場所と危険有害性を伝える。*可燃性のものを周囲から素早く除く。

*呼吸用保護具と防護手袋を着用する。*消火活動は風上から行う。

*指定消火剤を使用する。*できる限り流出物が配水管又は水路に入るのを防ぐ。

[消火を行う者の保護具等]

*状況に応じて呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等を使用する。

6、漏出時の措置

[人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置]

*作業の際には保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を使用する。

[環境に対する注意事項] *流出物が配水管又は水路に入るのを防ぐ。

*配水管又は水路の汚染が生じる場合は関係機関に連絡する。

[回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材]

*漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

*乾燥砂、土、その他の不燃性材料を用い流出を阻止し、残留物を吸着させて回収する。

*蒸気の拡散を吸収するのに水スプレー噴霧を用いても良い。

*付着物、廃棄物などは、関係法規に基付いて処理すること。

7、取り扱いおよび保管上の注意

(4)

[技術的対策]

- * 労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。
- * 正しい作業時実施法を定め、作業環境を許容濃度以下に保ち、換気よくして、吸入・接触を避ける。
- * 取り扱い後は常に石鹼水で洗浄し、作業着は別々に洗濯すべきである。

[注意事項]

- * 強酸化剤との接触を避ける。加熱・酸性・アルカリ性物質により反応を誘発する危険性があり注意すること。
- * 容器は破損・腐食・割れ等のないものを使用し、使用済み容器は一定の保管場所に集積する。

[保管]

- * 涼しい場所・換気の良い場所で容器を密閉して保管すること。
-

8、暴露防止および保護処置

- [設備対策] * 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗顔および身体洗浄のための設備を設置する。
 - * 「関係者以外立入禁止」等の必要表示を見やすい位置に掲示すること。
 - [保護具] * 呼吸器の保護具 : 通常の手扱いは特に必要ない。
 - * 手の保護具 : 不浸透性保護手袋・
 - * 目の保護具 : 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)
 - * 皮膚および身体への保護具 : 長袖作業衣
 - [適切な衛星対策] * 情報なし
-

9、物理的および化学的性質

(5)

[物理的状态]

形状 (20℃) : 微黄色透明液体

臭い : データなし

PH (20℃、原液) : 7.5~8.5

[物理的状态が変化する特定の温度 / 温度範囲]

沸点(溶媒の水+アルコール) : 90℃

融点 : なし

引火点 : なし

燃焼または爆発限界 : 上限 データなし 下限 データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

溶解度 水溶解性 : 易溶

溶媒溶解性 : 水溶性溶媒に易溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

蒸発速度 : データなし

燃焼性 (固体、ガス) : データなし

10、安定性および反応性

[化学的安定性]

*製品は安定している。

*危険有害性反応は無い。

*酸化性物質と反応性は低い、高温 (250℃以上) で徐々にしか反応しない。

*危険な重合は起こらない。

[避けるべき条件]

*情報なし

11、有害性情報

急性毒性 (経口) : データなし

急性毒性 (経皮) : データなし

急性毒性 (吸入、ガス) : データなし

急性毒性 (吸入、蒸気) : データなし

急性毒性 (吸入、粉じん、ミスト) : データなし

皮膚腐食性 / 刺激性 皮膚腐食性 : データなし

皮膚刺激性 : データなし

眼に対する損傷性 / 刺激性	: データなし、	(6)
呼吸感作性または皮膚感作性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性一単回暴露	: 情報なし	
特定標的臓器毒性一反復暴露	: 情報なし	
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし	

12、環境影響情報

混合物としての情報 : 情報なし、

*エタノール100%としての情報

水性環境有害性 (急性) 「区分外」

藻類 (クロレラ) の96時間 = 1000 mg/L (SIDS, 2005), 甲殻類 (オオミジンコ) の48時間 EC50 = 5463 mg/L (ECETC TR 91 2003), 魚類 (ニジマス) の96時間 LC50 = 11200 ppm (SIDS, 2005) より、藻類、甲殻類及び魚類に於いて100 mg/Lで急性毒性が報告されていない。

水性環境有害性 (長期間) 「区分外」

慢性毒性データを用いた場合、急速分解性有り (BODによる分類度: 89% (既存点検1993)、甲殻類 (ニセネコミジンコ属の一種) の10日間 NOEC = 9, 6 mg/L (SIDS, 2005) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、藻類、魚類、共に急性毒性が区分外相当であり、難水溶性ではない (miscible, ICSC, 2000)。

オゾン層への有害性 「分類できない」

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

*1-プロパノール100%としての情報

水性環境有害性 (急性) 「区分外」

甲殻類 (ミジンコ) での48時間 LC50 = 3025 mg/L (EHC 102, 1990 他) である。

水性環境有害性 (長期間) 「区分外」

急性毒性区分外であり、難水溶性ではない (水溶解度 = 1,000,000 mg/L (PHYSPROP Database, 2009))。

オゾン層への有害性「情報なし」

(7)

当該物質はモントリオール議定書の附属書には列記されていない。

***メタノール10%としての情報**

水性環境有害性（急性）「区分外」

魚類（ブルーギル）での96時間LC50=15400mg/L（EHC196, 1998）

甲殻類（ブラウンシュリンプ）での96時間LC50=1340mg/L（EHC196, 1998）。

水性環境有害性（長期間）「区分外」

急性毒性区分外であり、難水溶性ではない（水溶解度=1,000,000mg/L(PHYSROP Database, 2009)）。

オゾン層への有害性「分類できない」

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13、廃棄上の注意

- *一定容器にとりまとめ廃棄物処理免許を持った処理業者に処分を依頼すること。
- *空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後処分する
- *内容物 / 容器は国 / 都道府県 / 市町村の規則に従って廃棄すること。

14、輸送上の注意

[国内規則]

- *陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている方法に従う。
- *海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- *航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

[国際規則]

- *国連番号 なし *国連分類 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

[特定の安全対策]

- *「取扱いおよび保管上の注意」の章を参照する。
 - *容器の破損、漏れがないことを確かめる。
 - *荷崩れ防止を確実に行う。
 - *該当法規に従い、放送、表示、輸送を行う。
-

15、適用法令

* 労働安全衛生法	: 危険物	該当しない
	有機溶剤中毒予防規則	該当しない
	鉛中毒予防規則	該当しない
	特定化学物質等障害予防規則	該当しない
* 化学物質排出把握管理促進法 (P R T R 法)		該当しない
* 毒物及び劇物取締法		該当しない
* 消防法		該当しない
* 船舶安全法		該当しない
* 悪臭防止法		該当しない

16、その他の情報

* 日本界面活性剤工業会MSDS作成ガイドラインと主要製品の標準MSDSモデル
(平成13年10月)

* 社団法人日本塗料工業会GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物(塗料用)〕
〔注意事項〕

記載内容は現時点において当社で行い得る最善の調査に基いて作成されておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。全ての化学製品には未知の危険性、有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特別な取り扱いをする場合には、新たな用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。